

プログラム

1日目 (2026年2月21日[土])

第1会場 能楽ホール

9:00 ~ 9:05	■開会式	＊挨拶：木村 文則（奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授）	
9:05 ~ 9:15	■会長講演「原点に戻る～がん治療および生殖医療の発展と多職種協働を見つめなおす～」	＊座長：高井 泰（埼玉医科大学 医学部総合医療センター 産婦人科 教授） ＊演者：木村 文則（奈良県立医科大学 産婦人科学講座 教授）	
9:15 ~ 9:45	■基調講演「日本がん・生殖医療学会の「今まで」と「これから」」[supported by 赤崎クリニック]	「日本がん・生殖医療学会の成熟と今後の展望」 ＊座長：古村 泰典（慶應義塾大学 名誉教授） ＊演者：古井 辰郎（岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授）	
9:45 ~ 10:15	■指定講演「地域のがん生殖医療を実践する体制・医療者をどのように育てたか」[supported by 赤崎クリニック]	「滋賀県における Oncofertility の潮流」 ＊座長：森重 健一郎（大阪急性期・総合医療センター 生殖医療センター長） ＊演者：村上 節（滋賀医科大学 名誉教授）	
10:15 ~ 10:20	休憩		
10:20 ~ 11:05	■一般演題 - 口演発表Ⅰ①		
11:05 ~ 11:10	休憩		
11:10 ~ 11:50	■一般演題 - 口演発表Ⅰ②		
11:50 ~ 13:30	休憩		
13:30 ~ 14:10	■当学会の啓発の取り組み～ Medical Upfront message For Girls and women (MUFG) プロジェクト～	＊座長：梶山 広明（名古屋大学 産婦人科 教授） 「女性のがん予防促進プロジェクトの経過と今後の展開」 ＊演者：上田 豊（和歌山県立医科大学 先進予防・健康医学講座 教授） 「健康行動の文化を創出するプラットフォーム — 医療を「診療の外へ」拡張する取り組み—」 ＊演者：清水 裕介（藤田医科大学 産婦人科学講座 講師） 「なぜ正しい説明だけでは届かないのか。 ～伝え方、伝わり方について考える～」 ＊演者：土橋 通仁（株式会社 電通 中部オフィス クリエイティブディレクター／ アートディレクター／ゼネラルマネージャー） 質疑応答	
14:10 ~ 14:15	休憩		
14:15 ~ 14:45	■特別講演「JOFR の意義と展望」[supported by 赤崎クリニック]	＊座長：大須賀 穰（東京大学名誉教授 帝京大学臨床研究センター センター長） ＊演者：原田 美由紀（東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授）	
14:50 ~ 15:30	■日本がん・生殖医療学会認定ナビゲーター制度 教育講演 [supported by 久永婦人クリニック]	＊座長：森本 義晴（HORAC グランドフロント大阪クリニック 院長） 「がん・生殖医療を担う医療機関に求められる「認定がん・生殖医療ナビゲーター制度」の役割と展望」 ＊演者：小野 政徳（東京医科大学 産科婦人科学教室 教授） 「抗がん剤の性腺毒性に関する最近の話題」 ＊演者：鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 主任教授）	
15:30 ~ 15:35	休憩		
15:35 ~ 17:05	■ Oncofertility Consortium Japan Meeting 2026 「OCJpn のあゆみと公的助成の実態から地域格差を考える」 [supported by 医療法人平治会]	＊座長：古井 辰郎（岐阜大学医学部附属病院 周産期・生殖医療センター 教授） 多田 雄真（大阪国際がんセンター血液内科 AYA 世代サポートチーム 医長） 「JOFR からみる地域格差と埼玉県の現状」 ＊演者：重松 幸佑（埼玉医科大学国際医療センター婦人科 腫瘍科 助教） 「愛媛県のがん・生殖医療の実態」 ＊演者：安岡 稔晃（愛媛大学医学部附属病院産婦人科 助教） 「全国ワークショップによる地域格差改善への取り組み」 ＊演者：立花 眞仁（東北大学医学部医学系研究科 周産期医学分野 准教授） 総合討論 ＊ディスカッサント： 重松 幸佑（埼玉医科大学国際医療センター婦人科 腫瘍科 助教） 安岡 稔晃（愛媛大学医学部附属病院産婦人科 助教） 立花 眞仁（東北大学医学部医学系研究科 周産期医学分野 准教授） 伊東 雅美（富山大学附属病院 産科婦人科 診療講師） 圓崎 夏美（宮崎市医師会病院 産婦人科） 齊藤 亜由美（国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科）	

第2会場 レセプションホール1

12:10 ~ 13:10	■エグザクトサイエンス株式会社共催ランチョンセミナー「乳がん薬物療法とがん・生殖医療 2026」 「オンコタイプ DX [®] が導く「納得のいく選択」と 生殖医療連携の重要性」 ＊座長：小泉 圭（浜松医科大学医学部附属病院 乳腺外科 助教・病院講師） ＊演者：田村 宜子（虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長）	
13:30 ~ 13:58	■一般演題- 口演発表Ⅱ①妊孕性温存1	
14:03 ~ 14:45	■一般演題- 口演発表Ⅱ②妊孕性温存2	
14:50 ~ 15:32	■一般演題- 口演発表Ⅱ③地域連携体制と専門職による人的支援	
15:37 ~ 16:19	■一般演題- 口演発表Ⅱ④妊孕性温存3	
16:24 ~ 16:59	■一般演題- 口演発表Ⅱ⑤がん・生殖医療のアウトカムと周産期予後	

2 日目 (2026年2月22日[日])

第 1 会場 能楽ホール

- 9:00 ~ 10:30 ■看護・薬剤師・心理士部門・サイコソーシャルケア委員会合同セッション【supported by 医療法人双葉会富雄産婦人科】
- 座長：渡邊 知映(昭和大学 保健医療学部 教授) / 米村 雅人(国立がん研究センター東病院 副薬剤部長)
 - 「がん治療後も当事者が抱く妊孕性への不確実性」
 - 「血液がん治療開始後の生殖に関する継続的アプローチ — 看護師の立場から」
 - 「過去のがん薬物療法と妊娠・出産への相談支援 — 薬剤師の立場から」
 - 「がん治療後のプレコンセプションケア — 産婦人科医の立場から」
 - 「がん治療後の岐路・その後の人生を考える時 — 心理士の立場から」
 - 総合討論
 - 演者：小泉 智恵(獨協医科大学埼玉医療センター国際リプロダクションセンター 病院講師)
 - 演者：安宅 大輝(東邦大学医療センター大森病院リプロダクションセンター)
 - 演者：日置 三紀(滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 病棟業務支援室長)
 - 演者：片桐 由起子(東邦大学医学部 産科婦人科学講座 教授)
 - 演者：橋本 知子(IVF なんばクリニック 生殖心理カウンセラー／がん・生殖医療専門心理士)
- 10:30 ~ 10:40 休憩
- 10:40 ~ 11:40 ■フェリング・ファーマ株式会社共催スポンサードセミナー「胚・卵子凍結する際の実践」
- 座長：桑原 章(レディースクリニックコスモス 院長)
 - 「生殖補助医療 — 当院の取り組み —」
 - 「がん・生殖医療における効果的な多職種の連携のために」
 - 演者：塩谷 雅英(英ウイメンズクリニック 理事長)
 - 演者：斎藤 和毅(東京科学大学大学院 茨城県小児・周産期地域医療学講座 助教)
- 11:40 ~ 13:15 休憩
- 13:15 ~ 14:05 ■乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 2026 年改定版出版に向けて — 公開パブリックコメントセッション — 【supported by 三橋仁美レディースクリニック】
- 座長：田村 宜子(虎ノ門病院 乳腺・内分泌外科 医長)
 - 「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 改訂について 乳癌領域」
 - 「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 改訂について 生殖領域」
 - 演者：小泉 圭(浜松医科大学医学部附属病院 乳腺外科 助教・病院講師)
 - 演者：高江 正道(聖マリアンナ医科大学病院 産婦人科学 教授)
- 14:05 ~ 14:15 休憩
- 14:15 ~ 15:35 ■胚培養士 長期保管セッション【supported by ASKA レディースクリニック】
- 座長：沖村 匡史(加藤レディースクリニック 培養士) / 菊池 裕幸(仙台 ART クリニック マネージャー)
 - 「本邦における凍結保存タンク管理の現状と課題」
 - 「当院の凍結検体の保存期間更新システムについて」
 - 「妊孕性温存検体の凍結更新の現状と課題」
 - 演者：水野 里志(IVF 大阪クリニック 生殖技術部門 技師長)
 - 演者：中野 達也(IVF なんばクリニック 生殖技術部門 技師長)
 - 演者：宮本 若葉(京野アートクリニック仙台 胚培部サブリーダー)
- 15:40 ~ 15:50 ■最優秀演題表彰 & 次期会長挨拶 & 閉会式
- 15:50 ~ 16:30 ■年次総会

第 2 会場 レセプションホール1

- 9:00 ~ 9:42 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑥症例報告
- 9:50 ~ 10:32 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑦妊孕性温存4
- 10:40 ~ 11:22 ■一般演題 - 口演発表Ⅱ⑧支援資材の開発と意識調査
- 12:00 ~ 13:00 ■武田製薬工業株式会社共催ランチョンセミナー「男性妊孕性温存セッション」
- 座長：山崎 俊成(神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科 部長)
 - 「尿路上皮癌および腎細胞癌の診療の底上げ：妊孕性に留意すべき薬剤について」
 - 演者：三宅 牧人(奈良県立医科大学 泌尿器学講座 准教授)
- 14:00 ~ 16:00 ■市民公開講座